

人権情報プラザ 新着図書一覧

(令和5年4月登録分)



大分県人権啓発イメージキャラクター こころちゃん

どなたでもご利用できます。
お気軽にお立ち寄りください。(県庁舎別館1階)

書籍名・サブタイトル	出版社	著者	出版年	種別	あらすじ
1 武器としての国際人権-日本の貧困・報道-差別	集英社	藤田早苗	2022	総論 一般	国際的な人権基準と照らし合わせてみると、日本は人権が守られていない。コロナによって拡大した貧困問題、損なわれ続ける報道の自由、なくならない女性の差別や入管の問題。そうした問題の根底には、政府が人権を保障する義務を守っていないことがある。その状況を変えるためには、どうすればよいのか。
2 当事者研究-等身大の(わたし)の発見と回復	岩波書店	熊谷晋一郎	2020	総論 一般	当事者研究とは、自分と似た仲間との共同研究を通じて、等身大の“わたし”を発見すること、そして、そんな自分を受け入れるものへと社会を変化させることを通じて、回復へと導く実践である。当事者研究の誕生の背景と方法論を紹介し、自閉スペクトラム症研究を例として、知識や支援法の共同創造が始まりつつある現状を報告する。
3 川のほとりに立つ者は	双葉社	寺地はるな	2022	総論 一般	2023年本屋大賞ノミネート作。カフェの若き店長原田は、ある日恋人の松木がけがをして意識が戻らないと病院から連絡を受ける。松木の部屋を訪れた原田は、彼が隠していたノートを見つけたことで、恋人が自分に隠していた秘密を少しずつ知ることに。
4 布団の中から蜂起せよ: アナーカ・フェミニズムのための断章	人文書院	高島鈴	2022	総論 一般	家父長制、資本主義、天皇制に抗して、あらゆる生存のためになにができるのか、何が言えるのか、金子文子やデビッド・クレーバーを参照軸に、アナーカ・フェミニスト(無政府主義とフェミニズムの両方を取り入れた考え方)の立場からこの国のゆがみしほり出す。
5 言葉の展望台	講談社	三木 那由他	2022	総論 一般	難しく切実で面白い「言葉とコミュニケーション」を、「哲学」と「私」の間のリアルな言葉で綴るエッセイ。
6 きみのことがだいすき(絵本)	パインインターナショナル	いぬいさえこ	2022	総論 一般	この森には、小さくてふわふわの動物がたくさん暮らしています。どんなことをお話ししているのか覗いてみたら、それは、優しさにあふれていました。親子で読んでほしい、たくさんのお話を伝えるメッセージ絵本。
7 死刑のある国で生きる	新潮社	宮下 洋一	2022	総論 一般	死刑囚の顔写真や死刑執行予定日までネット上に公開し、死刑の瞬間を遺族やメディアが見守るアメリカ。死刑を廃止し、刑期も短いゆえに加害者と被害者家族が同じ町に暮らし顔を合わせるスペイン。死刑が定着しもはや常識となっている日本。そして人権大国フランスで起きている新たな「死刑」とは。
8 家事は大変って気づきましたか?	亜紀書房	阿古真理	2022	女性 ジェンダー	なぜ家事は女性の仕事だったのか? 明治から令和まで、家事と仕事の両立を目指してきた女性たちの歴史、それぞれの時代の暮らしと流行を豊富な資料で解き明かし、家事に対する人々の意識の変遷を読みとく。
9 パパの家庭進出が日本を変えるのだ! ママの社会進出と家族の幸せのために	光文社	前田晃平	2021	女性 ジェンダー	「女性の社会進出の前に必要なのは、男性の過程進出だ」と訴える著者が、豊富なデータと当事者の実体験を描く。
10 二重に差別される女たち ないことにされているブラック・ウーマンのフェミニズム	DU BOOKS	ミッキ・ケンドール	2021	女性 ジェンダー	あなたの不「フェミニズム」は差別的? 主流の白人フェミニストが提唱する「シスターフッド」に対して、BLMの時代「ブラック・フェミニズム」からの切なる訴えとはー? 白人女性=自分に置き換えてみて来て。シスターフッドのあるべき姿。
11 虐待したことを否定する親たち-孤立する親と子を再びつなげる	PHP新書	宮口智恵	2022	子ども	虐待した親と、その子を再び結びつける活動を行っている著者が、親子の「安心基地」をつくるために必要なことを語る。
12 産んでくれなんて頼んでないし	イースト・プレス	シオリーヌ(大貫詩織)	2022	子ども	死にたかった女の子が“Youtuber”になって性教育を広めて、出産するまで。総再生回数4千超! 性教育Youtuberシオリーヌ初エッセイ。
13 おうち性教育ははじめますー一番やさしい! 防犯・SEX・命の伝え方	KADOKAWA	フクチマミ/村瀬幸浩	2020	子ども	本書は「うちにも赤ちゃんはくる?」といった突然やってくる素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の言葉かけ、思春期に訪れる男女の心と体の変化まで、親子で一緒に学ぶことができます。
14 おうち性教育ははじめますー思春期と家族編	KADOKAWA	フクチマミ/村瀬幸浩	2022	子ども	「反抗期で何を考えているのかわからない」と親の目が届かなくなる不安や、「大学生がストーカー行為で逮捕!」などデートDVや性犯罪のニュースに心が揺れる日はありませんか? そんな時は「性教育」が助けになります。本書は、思春期の子どもに訪れる心と体の変化はもちろん、何が暴力や性加害かを知り自分を守るための考えを家庭で育むことができます。
15 リエゾン(11)-こどものこころ診療所	講談社	竹村優作/コンチヤン	2023	子ども	大人も子供も生きづらさを抱える現代。悩める親子に向き合う「児童精神科医」を描く、新たな医療漫画。シリーズ最新刊。
16 リエゾン(12)-こどものこころ診療所			2023		
17 ミシンと金魚	集英社	永井みみ	2022	高齢者	暴力と愛情、幸福と絶望、諦念と悔悟…認知症を患う“あたし”が語り始める、凄絶な「女の一生」。第45回すばる文学賞受賞作。
18 部落差別解消への展望	解放出版社	神原文子	2023	部落差別問題	長年、各地の人権意識調査に携わった社会学者・専門社会調査士が有効な質問項目の選定と分析手法を提示、人権施策の課題を明らかに。
19 ルポ コロナ禍の移民たち	明石書店	室橋 裕和	2021	外国人	コロナ・ショックは移民社会をどう変えたか。気鋭のルポライターが訊いた、日本で生きる外国人ならではの偽らざる本音と生き抜き方。
20 ルポ 日本の土葬-99.97%の遺体が火葬されるこの国の0.03%の世界	宗教問題	鈴木 貴太郎	2023	外国人	亡くなった遺体の99.97%が火葬される日本。しかし、その日本にも「土葬」を求める人々がいる。ムスリム移民、伝統的神葬祭、そして新しい形の葬送を求める人々…。そんな0.03%の世界の、「いま」を追った。

21	たぶんみんなは知らないこと	講談社	福田 隆浩	2022	障がい	重度の知的障がいのある小五の女の子、すずと、お兄ちゃん、同級生、先生、保護者たちなど周りの人をめぐる優しい物語。 『ふたり』が青少年読書感想文全国コンクール課題図書に、『香葉となつつの秘密』が厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財に選ばれるなど、特別支援学校で長く現役教師をつとめながら児童文学作家としても活躍する、著者の最新作。
22	僕らは「きょうだい」で起業する—自閉の画家・太田宏介と僕	梓書院	太田 信介	2022	障がい	NHK「HUMANドキュメント&クローズアップ現代」で放送されて話題沸騰！大手企業から脱サラ起業する勇気をくれたのは、自閉の画家・弟の宏介でした—。障がいのある子、きょうだいを持つすべての方へ「起業」という道歩んだ二人のものがたり。
23	僕は死なない子育てをする—発達障害と家族の物語	創元社	遠藤 光太	2022	障がい	「なんとか生き延びてこられたんだから。」23歳で結婚し、父になり、鬱になって離婚しかけたり自殺したくなったりしてから発覚した発達障害。一言で表せば「苦闘」の20代。けれど「未来は大丈夫だ」と信じようとした。
24	目の見えない人は世界をどう見ているのか	光文社	伊藤 亜沙	2015	障がい	私たちが最も頼っている視覚という感覚を取り除いてみると、身体は、そして世界の捉え方はどうなるのか—？美学と現代アートを専門とする著者が、視覚障害者の空間認識、感覚の使い方、体の使い方、コミュニケーションの仕方、生きるための戦略としてのユーモアなどを分析。目の見えない人の「見方」に迫りながら、「見る」ことそのものを問い直す。
25	エゴイスト	小学館文庫	高山 真	2022	性的少数者	2023年2月10日公開映画(主演:鈴木亮平、共演:宮沢氷魚)の原作本。男性同性愛者の恋愛について描く。巻末には俳優・鈴木亮平の特別寄稿を収録。
26	「地方」と性的マイノリティ—東北6県のインタビューから	青弓社	杉浦 郁子 前川 直哉	2022	性的少数者	「進んでいる東京／遅れている地方」は本当なのだろうか。いままでのセクシュアリティ研究で見過ごされてきた「地方」の実態を、当事者・団体スタッフたちの豊富な語りから考察し、性的マイノリティをめぐる政治と地域性についての新たな見取り図を提示する。
27	親子は生きづらい—“トランスジェンダー”をめぐる家族の物語	金剛出版	勝又栄政	2022	性的少数者	女として生まれ育ち、「ふつう」を願い、罪悪感に押しつぶされながら、男になりたいとカミングアウトした、「僕」の物語。急転する子どもの人生にとまどい、憤り、悲しみ、それでも子どもと共に歩むことをあきらめなかった、「母」の物語。トランスジェンダーの医療概念と社会通念の変遷、家族を取り巻く社会構造の変容に翻弄されながら交差する2つの物語は、ついにひとつの結論にたどりつく—
28	デッドライン	新潮文庫	千葉雅也	2022	性的少数者	2001年の春、僕は大学院に進んだ。専門はフランス現代思想。友人の映画制作を手伝い、親友と深夜にドライブし、行きずりの男たちと関係を持つ日々を送りながら、修士論文の執筆が始まる。テーマはドゥルーズ—世界は差異からできていると唱えた哲学者だ。だが、途中までしか書けないまま修論の締め切りはどんどん迫り…。気鋭の哲学者が描く青春小説。芥川賞候補、野間文芸新人賞受賞作。
29	あおいくんのかみかざり(絵本)	三恵社	可児七葉/ 西村香帆	2021	性的少数者	名古屋市立大学のゼミ生が、「性の多様性に理解のある子どもたちが増えてほしい」という想いから、LGBTQ+をテーマとして制作した絵本。花を髪に飾った男の子あおいくんに、友達のそらくんは「おかしい」と思うが……。ひねりのない直球という印象。
30	じぶん、まる！	解放出版社	田中 一歩 (ippo.)	2023	性的少数者	子どもたちといっしょに、性の多様性から「じぶん」について考える。人気講座「じぶんをいきるための一冊。」、そこで出会う様々な子どもたちと性のありかた・性の多様性について話をしながら考える。